

緑内障フレンド・ネットワーク  
「緑内障市民公開講座」開催

日時:2007年3月4日(日) 11:00~16:20

場所:浜離宮朝日ホール 多目的ホール

緑内障の啓発を主に活動する患者組織である緑内障フレンド・ネットワーク(代表:柿澤映子 会員数:1,600名)は、2007年3月4日(日)、浜離宮朝日ホールにて、一般の方を対象に「緑内障市民公開講座」を開催いたします。

緑内障は、視神経が損傷を受け、視野が徐々に欠けていき、放置すると失明する危険性がある疾患です。40歳以上の20人に1人が発症しており、中途失明につながる視覚障害の原因の第1位であることが明らかになっています(2006年厚生労働省調査)。なかでも、日本人に多い正常眼圧緑内障(NTG:Normal Tension Glaucoma)は、眼圧が正常値にも関わらず視野が欠けていくタイプの緑内障で、緑内障全体の約7割を占めており、そのうち約9割の患者が未受診といわれています。緑内障は、初期の自覚症状がほとんどないため、発見が遅れがちです。一度失った視野は元には戻らないため、失明を未然に防ぐためにも、早期発見・早期治療が重要です。

緑内障フレンド・ネットワークでは、緑内障について正しくご理解いただき、ひとりでも多くの方の早期発見につながるよう、緑内障専門医による講演を下記要領にて開催することにいたしました。また、今回は特別に、緑内障と同じく中高年に多い目の疾患である加齢黄斑変性についても専門医をお招きしています。会場では、音声パソコンをはじめとするロービジョンの方向けの便利グッズの展示および体験会も行います。

記

日 時: 2007年3月4日(日) 11:00~ (受付開始 10:45)  
場 所: 浜離宮朝日ホール 多目的ホール(中央区築地5-3-2) TEL:03-5541-8710  
対 象: 一般

プログラム: <講演> 14:00~16:00

- 1) 『緑内障』/東京警察病院眼科部長 安田 典子先生
- 2) 『加齢黄斑変性』/日本大学医学部眼科教授 湯澤 美都子先生

<展示> 11:00~16:20

音声パソコン(拡大・音訳ソフト)、拡大読書器、大活字本、ロービジョンレンズなど  
使い方について、随時デモンストレーションを行います。

参加費: 1,600円(当日受付にてお支払いください)

定 員: 200名(要事前申込)

申込方法: 往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入の上、下記事務局までお願いいたします。  
返信はがきをもって、入場券に代えさせていただきます。

申込はがきは参加希望者1名様につき1枚必要。2/20(火)消印有効。

お申込み・お問合せは

緑内障フレンド・ネットワーク事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-2-16-501 TEL:03-3272-6971(担当:野田)

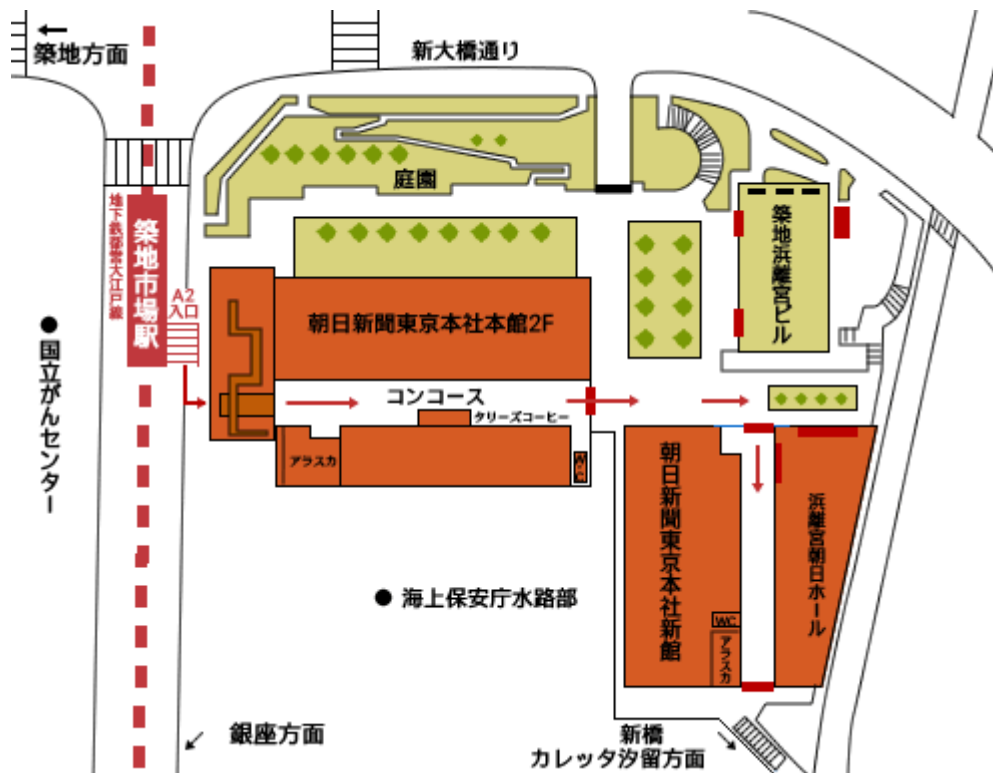
主 催: 緑内障フレンド・ネットワーク

会場地図:

- ・朝日新聞社新館 2 階
- ・都営大江戸線築地市場駅下車 A2 出口すぐ

< その他の交通 >

- ・日比谷駅 / 築地駅 2 番出口・東銀座駅 6 番出口 (徒歩約 8 分)
- ・JR 新橋駅 / 地下鉄銀座線・新橋駅 (徒歩 15 分)
- ・タクシーで、新橋駅から 10 分、東京駅八重洲口から 20 分、銀座駅から 15 分、浜松町駅から 10 分



緑内障フレンド・ネットワーク <http://www.gfnet.gr.jp/>

緑内障フレンド・ネットワークは、2000年6月1日に設立された緑内障の患者組織です。緑内障の患者、家族・身内に患者のいる人、活動に賛同する個人、団体、企業などによって構成されています。代表には、自身も緑内障で、これまでも緑内障の知識普及のために活動を続けてきた柿澤映子が就任し、緑内障の研究と治療に長年携わってきた北澤克明・日本緑内障学会 前理事長が顧問としてサポートしています。また本ネットワークは、日本緑内障学会、日本眼科医会からも支持を得ています。

これまでに、緑内障ホットラインの運営、ホームページの開設、東京都や厚生労働省への陳情、書籍の出版、会員の集い、会報の発行、患者手帳の発行、一般の方々への啓発活動等を行っております。

本リリースに関する報道機関からのお問合せ  
株式会社トークス TEL:03-3261-7715 FAX:03-3261-7174(担当:野村/伊藤)